

## 北海道横断自動車道（女満別空港～網走間）の 計画について地域の意見聴取（第2回）を実施します

～皆さまの御意見をお聞かせください～

網走開発建設部では、北海道横断自動車道（女満別空港～網走間）の計画について、地域の皆様や道路を利用される方からの御意見を道路計画に反映するため、アンケート及びヒアリング調査を行いますので、御協力をお願いします。

### <地域の意見聴取概要>

女満別空港～網走間のルート検討にあたり、重視すべき点や配慮すべき点についての御意見をお伺いします。

#### （1）アンケート調査

調査票 網走市、美幌町、斜里町、清里町、小清水町、大空町にお住まいの各世帯に調査票を配布いたします。

また、市役所・役場及び、道の駅（流氷街道網走、しゃり、うとろ・シリエトク、パパスランドさつる、はなやか小清水、メルヘンの丘めまんべつ、ノンキーランドひがしもこと）に調査票を備え付けます。

- 回答方法 ①インターネットによる回答（網走開発建設部HPからアクセスできます）  
・URL [https://www.hkd.mlit.go.jp/ab/douro\\_keikaku/bkh9110000006e4v.html](https://www.hkd.mlit.go.jp/ab/douro_keikaku/bkh9110000006e4v.html)  
②調査票による回答  
・調査票備え付け箇所に設置する回収ボックスへ  
・最寄りの郵便ポストへ

実施期間 インターネットによる調査  
令和4年12月 2日（金）から令和5年 2月14日（火）まで  
調査票配布による調査  
令和5年 1月18日（水）から令和5年 2月14日（火）まで

#### （2）ヒアリング調査

関係自治体や関係団体、事業者の皆様にインタビュー形式のヒアリングを実施します。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 網走開発建設部 道路計画課 電話 0152-44-6510  
道路計画課 道路計画課長 横山 朋紀（内線 351）  
道路計画課 道路調査官 小池 直幸（内線 477）  
網走開発建設部HP <http://www.hkd.mlit.go.jp/ab/>





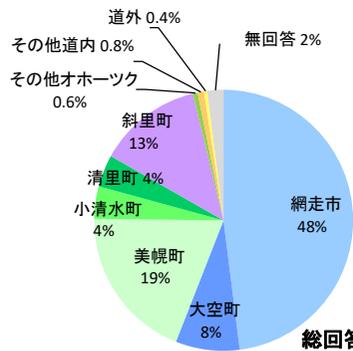


# 第1回意見聴取の結果

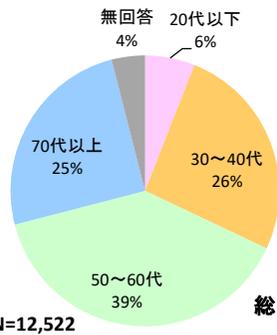
アンケートには、地域の住民や道路を利用される方などから12,522件の回答をいただきました。

## 回答者の居住地、年齢、運転頻度、国道39号女満別空港～網走間の利用頻度、利用目的

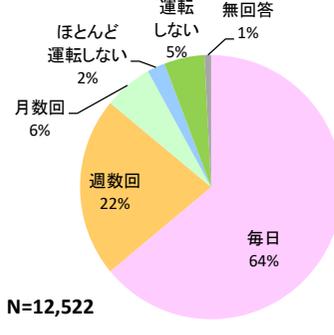
### ▼居住地



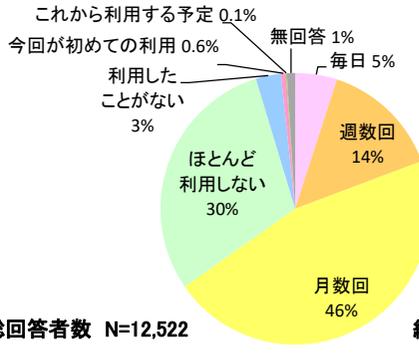
### ▼年齢構成



### ▼自動車の運転頻度



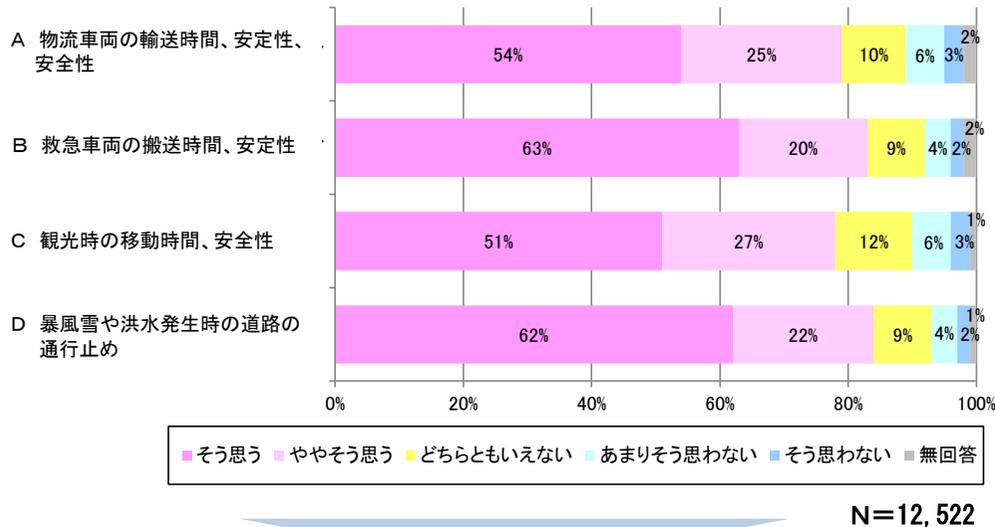
### ▼女満別空港～網走間の利用頻度



### ▼女満別空港～網走間の利用目的

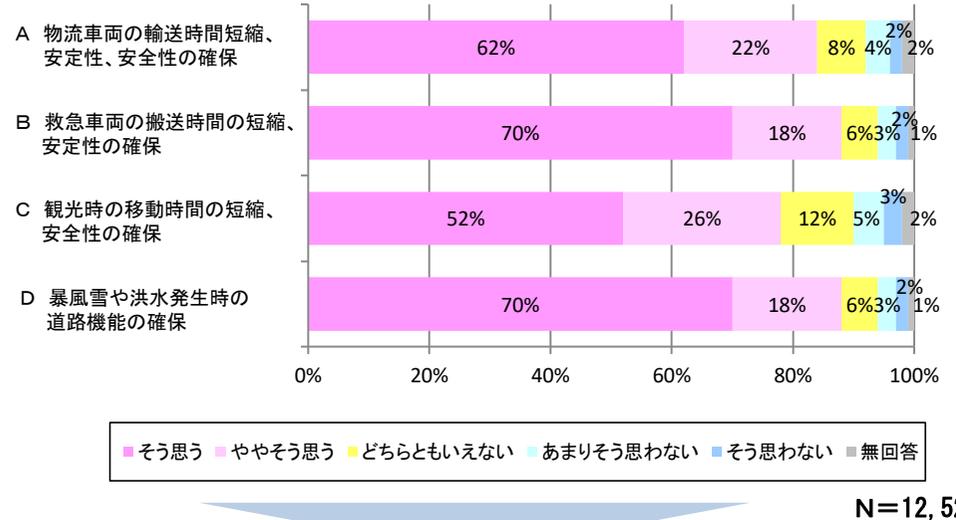


## 将来を見据えた地域の課題



将来を見据えた地域の課題は、特に救急車両の搬送時間や安定性、暴風雪や洪水発生時の道路の通行止めの影響が課題であるとの回答をいただきました。

## 女満別空港～網走間に必要な道路機能

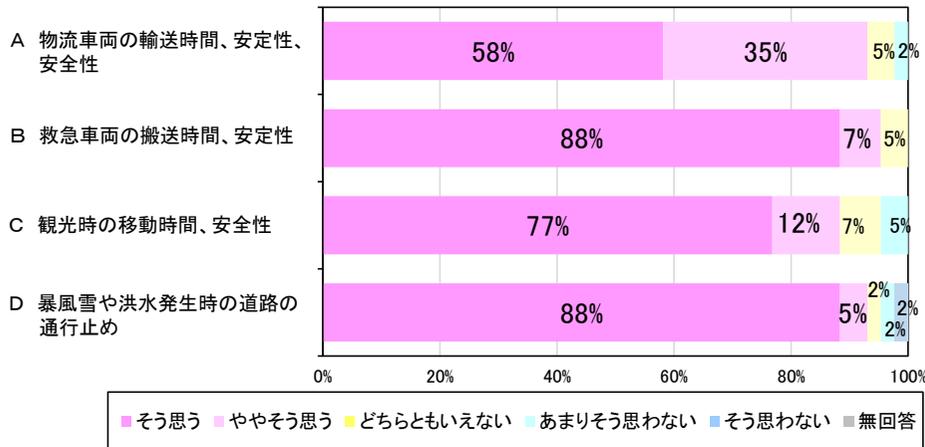


女満別空港～網走間においては、特に救急車両の搬送時間短縮・安定性の確保や、暴風雪や洪水発生時の道路機能の確保が必要であるとの回答をいただきました。

# 第1回意見聴取の結果

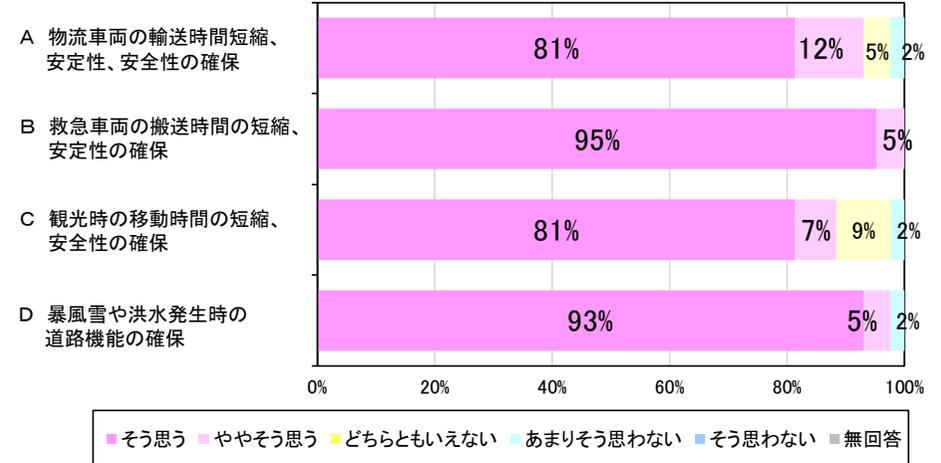
ヒアリング調査では、沿線自治体や各団体から43件の回答をいただきました。

## 将来を見据えた地域の課題



将来を見据えた地域の課題は、特に救急車両の搬送時間・安定性や、暴風雪や洪水発生時の道路の通行止めの影響が課題であるとの回答をいただきました。

## 女満別空港～網走間に必要な道路機能



女満別空港～網走間においては、特に救急搬送時間を短縮し、安定走行が可能な道路が必要であるとの回答をいただきました。

## 第1回アンケート調査・ヒアリング調査のまとめ

○多くの道路関係者や各団体の皆様が地域の課題に対して道路整備の必要性を感じています。

○特に、速達性や安定性・安全性、災害時における道路の機能確保に対して多く回答を頂きました。

頂いた意見を踏まえ政策目標を設定しました

## 女満別空港～網走間に必要とされる政策目標

地域を支える農水産業の輸送経路の速達性、安定性、安全性の向上

地域の暮らしを支える医療の救急搬送の速達性、安定性向上

観光促進に向けた観光ルートにおける周遊性の向上

異常気象時における国道の安全性確保

# 課題解決のための対策案

○第1回地域意見聴取で地域の課題、女満別空港～網走間に必要な道路機能について確認したことから、政策目標の達成に必要な機能と配慮すべき事項等を踏まえ、以下のような2つの対策案を設定。

## 政策目標

地域を支える農水産業の輸送経路の速達性、安定性、安全性の向上

地域の暮らしを支える医療の救急搬送の速達性、安定性向上

観光促進に向けた観光ルートにおける周遊性の向上

異常気象時における国道の安全性確保

## 政策目標達成に必要な機能

- ・空港・港湾等の物流拠点への速達性の高い道路
- ・市街地を回避し、安全・円滑に輸送できる道路

- ・医療拠点である北見市への速達性の高い道路
- ・搬送時の安定性が高い道路

- ・観光地や空港へのアクセス性が高い道路
- ・地吹雪区間を回避し、安全に移動できる道路

- ・地吹雪発生時や洪水発生時に国道機能を有する道路

## 配慮すべきポイント

- ・地域への影響
- ・環境への影響
- ・工事中の影響
- ・経済性

## 2つの対策案と整備イメージ

### 別線・市街地アクセスルート

別線整備により、課題箇所を回避し網走市街地へのアクセスにも配慮したルート



### 別線・一部現道改良ルート

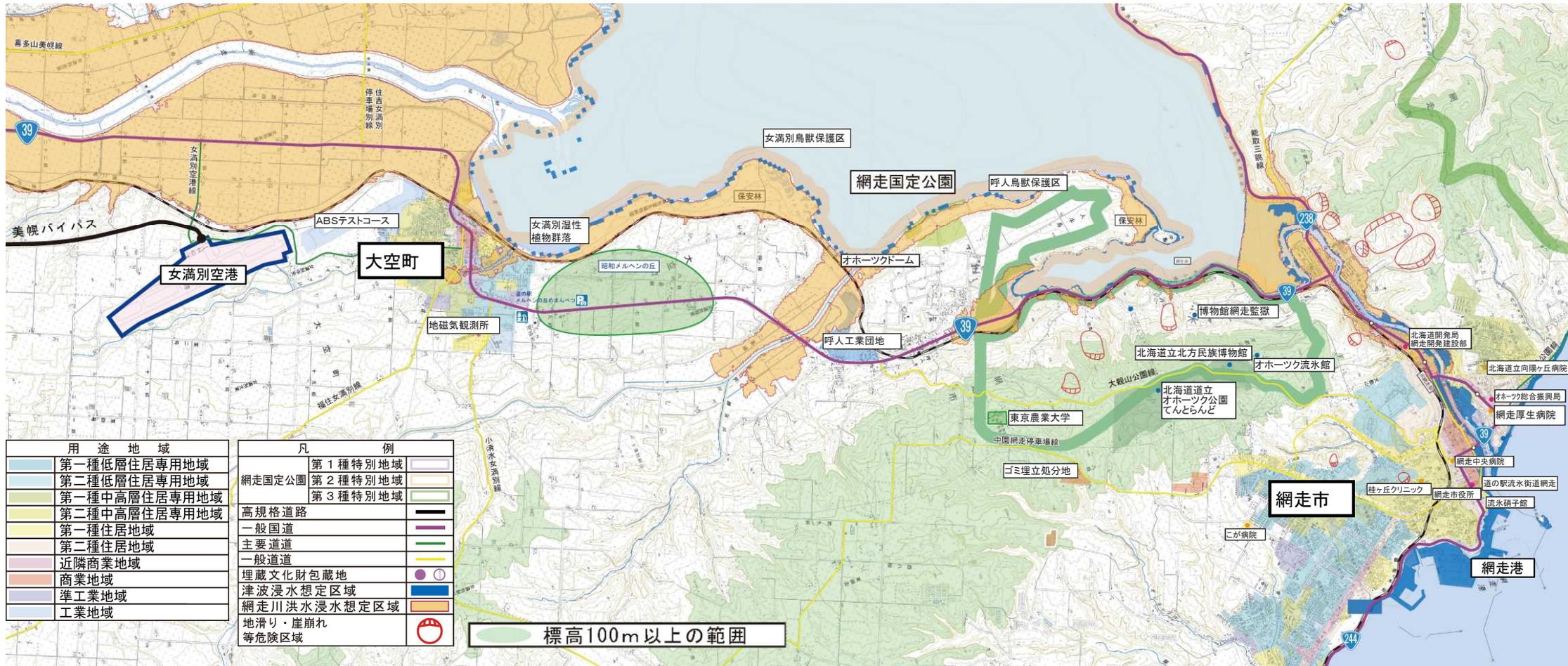
一部別線整備により、課題箇所を回避し女満別市街～網走間において現道改良により課題を解消するルート



- 凡 例
- : 市街地・集落
  - : 現道
  - : 別線整備
  - : 現道改良

# 対策案のコントロールポイント

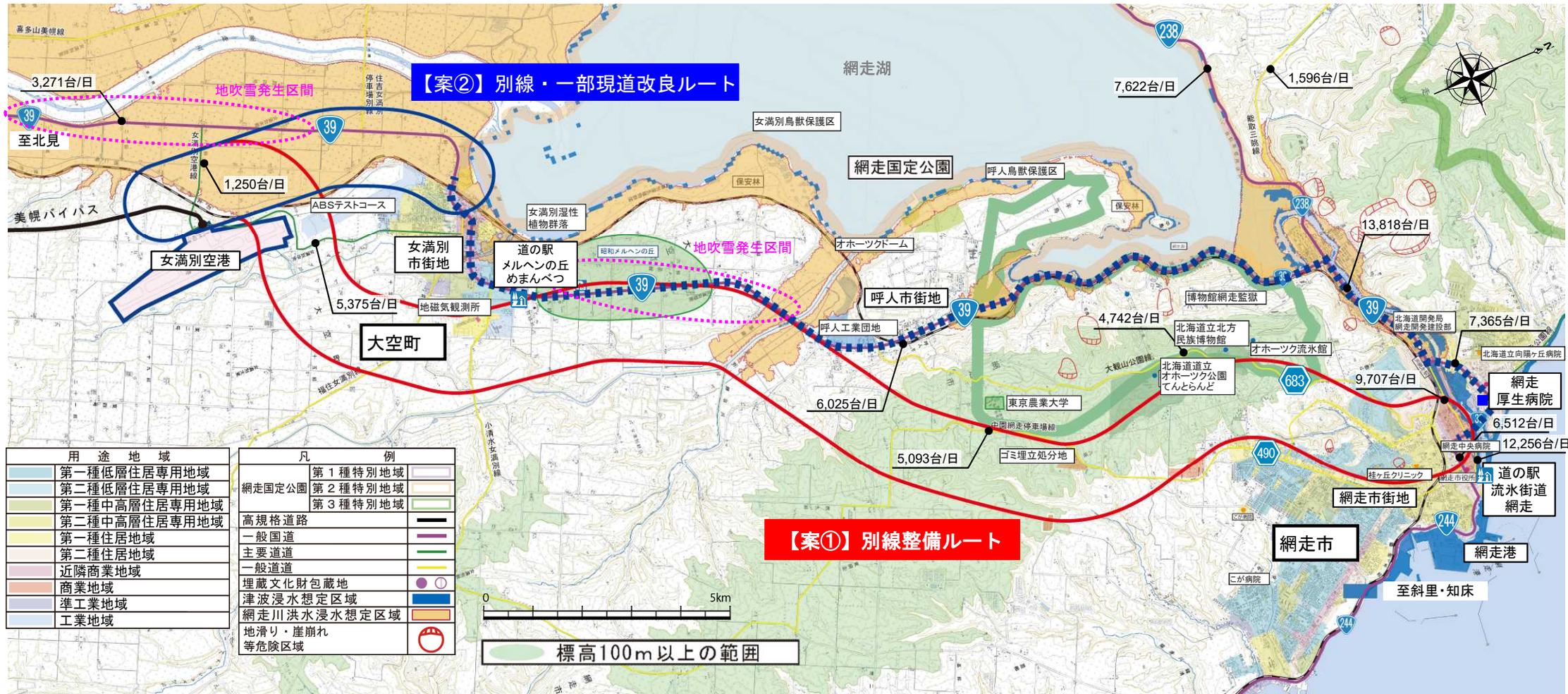
○各対策案検討のコントロールポイントとしては、市街地の公共施設や観光拠点、津波浸水・洪水浸水想定区域の影響を極力回避しつつ、市街地や網走港へのアクセス性に配慮。



<p>回避すべき施設等 (社会的状況による要因)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市街地・集落</li> <li>・公共施設（役場、病院、学校、空港・港湾、福祉施設等）</li> <li>・観光拠点</li> <li>・史跡・遺跡</li> </ul>
<p>配慮すべき事項 (自然環境)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境</li> <li>・津波浸水想定区域、洪水浸水想定区域、地すべり箇所</li> </ul>

# 対策案の比較

○コントロールポイントを踏まえ、政策目標達成に必要な機能から2つの対策案を設定。



## 案① 別線・市街地アクセスルート

(別線整備により課題箇所を回避し、網走市街地へのアクセスにも配慮したルート)

- ・市街地の交差点を回避し、自動車専用道路なのでサービス速度は確保しやすい
- ・ルート帯が現国道や市街地から近傍で、アクセス性や津波等災害時の代替性に優れる
- ・構造物が多く、比較案の中で事業費は高価

## 案② 別線・一部現道改良ルート

(別線整備により課題箇所を回避し、女満別市街～網走間において現道改良により課題を解消するルート)

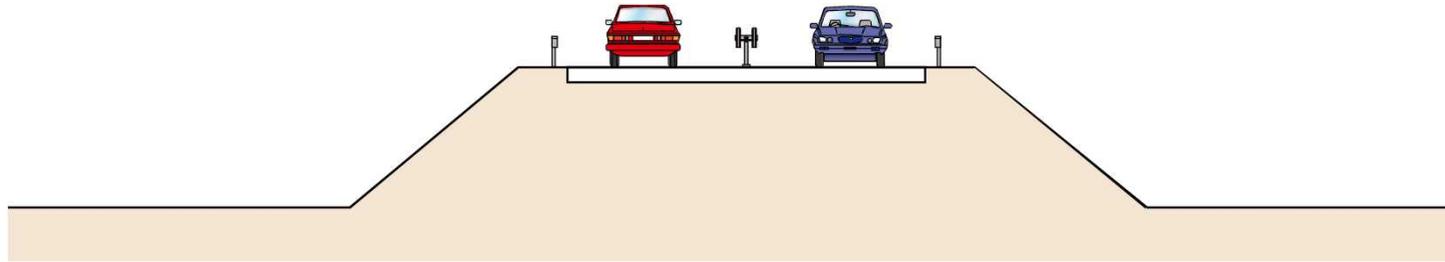
- ・大部分が現道改良となるため、速達性は劣る
- ・嵩上げにより浸水を防ぎ、避難活動の支援や道路空間を緊急避難所として活用可能
- ・現道の課題箇所を局部的に改良するため、経済性が優位

## 案① 別線・市街地アクセスルート 全線別線で設計速度※:80km/h

### ○ 整備方法 【別線整備】

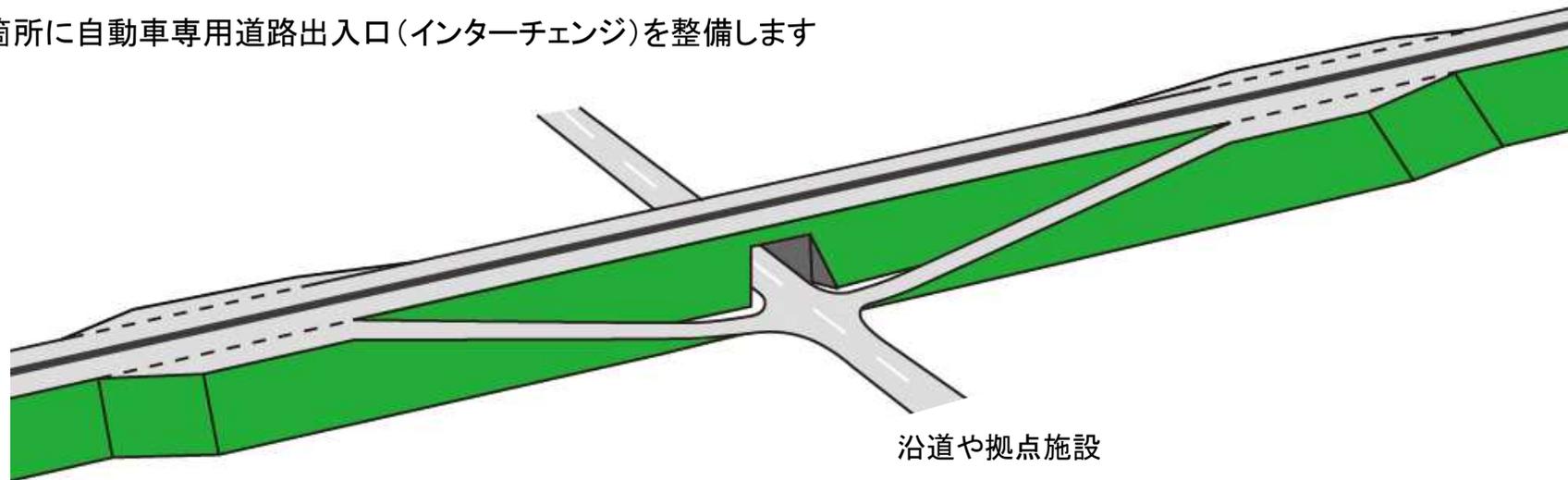
女満別空港～網走の全区間に自動車専用道路を整備します

※案②の別線区間も同様の整備となります



### ○ 沿道や拠点施設へのアクセス方法

アクセス箇所自動車専用道路出入口(インターチェンジ)を整備します



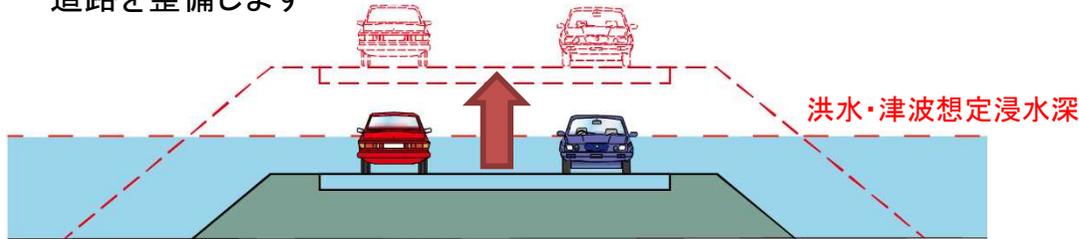
※設計速度は、安全・快適に走行できる速度であり、実際の交通規制の速度は設計速度と異なる場合があります

## 案② 別線・一部現道改良ルート 別線区間は設計速度※:80km/h、現道改良区間は設計速度※60km/h

### ○ 整備方法

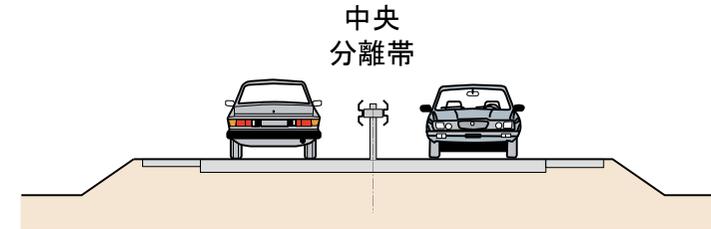
#### 【洪水・津波浸水想定区間の現道対策】

洪水・津波による浸水が想定される区間は現道の高さをあげた道路を整備します



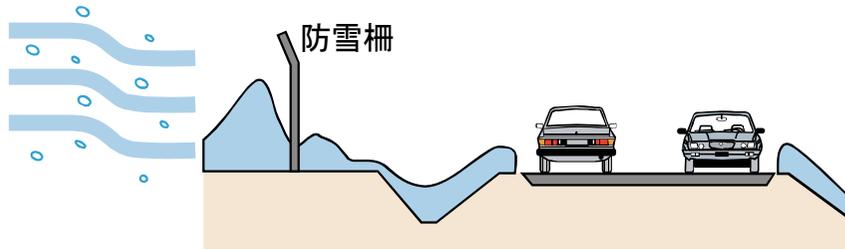
#### 【事故危険区間の対策】

正面衝突事故等の多い区間は中央分離帯を整備します



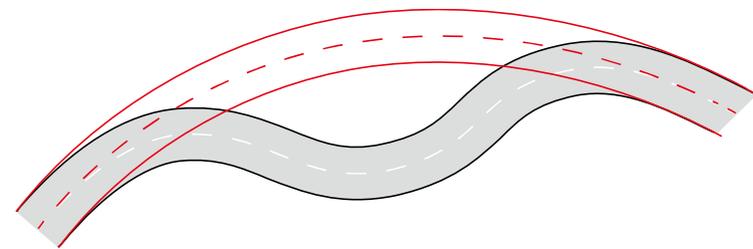
#### 【地吹雪発生区間の対策】

地吹雪が発生しやすい区間は地吹雪を防止する防雪柵を整備します



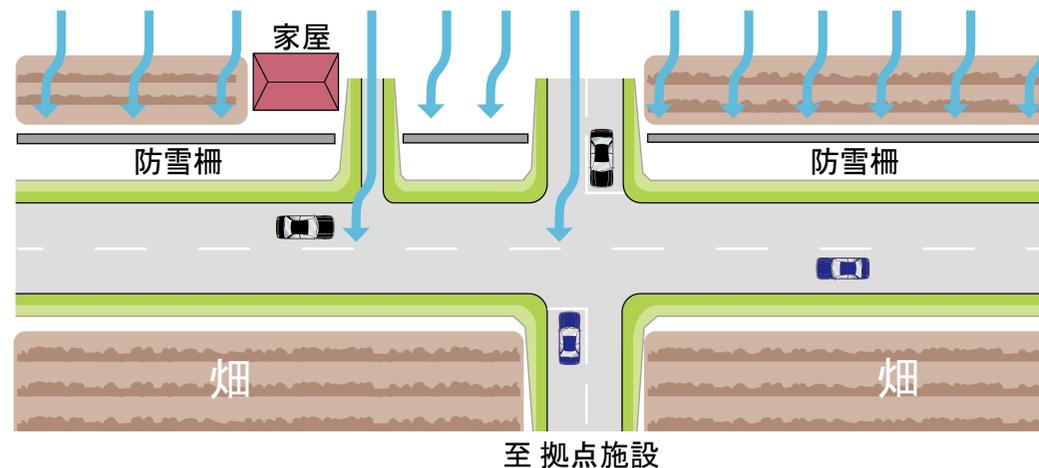
#### 【カーブ連続区間の対策】

急カーブ連続区間は急カーブを解消する道路を整備します



### ○ 沿道や拠点施設へのアクセス方法

沿道の出入は自由ですが、交差点等は出入確保のため対策ができない場合があります



# 国道39号女満別空港～網走間 現道の状況

## 渋滞・混雑



網走市街の混雑状況

- 市街部交差点で通勤時間帯に渋滞が発生しています。
- 市街部・郊外部ともに冬期悪天候時に速度低下が発生しています。

## 安全・走行環境



大型車事故の発生状況

- 大型車事故の発生割合が高く、地吹雪が原因の事故も発生しています。
- 市街部の信号連続や、女満別市街や網走湖畔のカーブ連続区間があり、走りづらくなっています。

## 災害



立ち往生した車両の救出状況

- 冬期は暴風雪による通行止めが多発しています。
- 国道の一部が洪水・津波浸水想定区域に位置しています。

## 北海道横断自動車道（網走線） 女満別空港～網走 約20km



# 対策案の比較表

対策案の考え方			案① 別線・市街地アクセスルート	案② 別線・一部現道改良ルート
整備イメージ				
区間延長			約20km(自動車専用道路)	約23km(自動車専用道路+現道改良)
政策目標	地域を支える農水産業の輸送経路の速達性、安定性、安全性の向上	輸送時の速達性	・物流拠点から美幌バイパス(女満別空港)までの時間短縮効果が大きい (網走港～美幌BP 現況30分→18分 12分短縮) (呼人工業団地～美幌BP 現況14分→11分 3分短縮)	・物流拠点から美幌バイパス(女満別空港)までの時間短縮効果が小さい (網走港～美幌BP 現況30分→27分 3分短縮) (呼人工業団地～美幌BP 現況14分→12分 2分短縮)
		輸送時の安定性	・速度低下等を招く市街地の信号交差点を回避 (網走港→美幌BPまで41箇所中35箇所回避)	・速度低下等を招く市街地の信号交差点は現況と同じ
		輸送時の安全性	・市街地や郊外部の事故危険区間を回避 (現況 3区間→0区間)	・市街地や郊外部の事故危険区間で交通安全対策を実施 (3区間で対策)
	地域の暮らしを支える医療の救急搬送の速達性、安定性向上	高次医療機関への速達性	・網走厚生病院から北見赤十字病院までの時間短縮効果が大きい (現況 66分→57分 9分短縮)	・網走厚生病院から北見赤十字病院までの時間短縮効果が小さい (現況 66分→60分 6分短縮)
		救急搬送時の安定性	・搬送時の揺れを招く市街地やカーブ連続区間を回避 (市街地通過 3箇所→1箇所、カーブ連続区間 2箇所→0箇所)	・搬送時の揺れを招く市街地やカーブ連続区間を回避出来ない
	観光促進に向けた観光ルートにおける周遊性の向上	観光拠点間の速達性	・女満別空港から知床まで時間短縮効果が大きい (女満別空港～網走市～知床 現況110分→99分 11分短縮)	・女満別空港から知床間までの時間短縮効果が小さい (女満別空港～網走市～知床 現況110分→107分 3分短縮)
		移動時の安全性	・走行環境を悪化させる地吹雪発生区間を回避 (現況 2区間→0区間)	・走行環境を悪化させる地吹雪発生区間を別線整備で1区間回避、現道改良区間は1区間で対策を実施
	異常気象時における国道の安全性確保	地吹雪に対する国道機能の確保	・別線整備により地吹雪発生区間を回避 (現況 2区間→0区間)	・地吹雪発生区間を別線整備で1区間回避、現道改良区間は1区間で対策を実施
洪水に対する国道機能の確保		・別線整備により洪水浸水想定区域を回避し、迅速な避難活動の支援が期待できる。 (洪水浸水区域 現況 9.1km→0km)	・現道の嵩上げにより洪水浸水を防ぎ、迅速な避難活動の支援や、道路空間を緊急避難所として活用できる。 (洪水浸水区域 9.1kmを嵩上げ)	
配慮すべき事項	地域への影響	家屋や土地利用への影響	・市街地を極力回避するため、沿道家屋、土地利用等への影響は案②より小さい	・現道改良区間で市街地を通過するため、沿道家屋、土地利用への影響が大きい
	環境への影響	自然環境への影響	・山地部を通過するが、地形に沿った道路とすることで、地形改変面積を抑制することが可能	・延長の大部分を現道改良するため、自然環境への影響は小さい
	工事中の影響	工事中の現道交通への影響	・別線整備のため、工事中の現道交通への影響は小さい	・国道の通行規制や沿道利用の現道交通への影響が非常に大きい
	経済性	経済性・概算事業費	・別線整備の延長が長く、案②より経済性が劣る 約900～1050億円	・現道改良の延長が長く、経済性が優位 約750～850億円

※上記の時間短縮等の数値については、概略延長に対して設計速度を用いて試算した値であり、今後の詳細なルート・構造検討や接続位置等により変更となる場合があります。

# 北海道横断自動車道（女満別空港～網走間）に関するアンケート

回答は返信用はがきに記入し、令和5年2月14日までに郵便ポストに投函してください。

質問1 対策案（ルート帯案）の検討にあたって、どの項目を重視すべきと思いますか？

次のA～Fの項目それぞれについて、「特に重視すべき」～「重視する必要はない」の当てはまる箇所1つに○をつけてください。	特に重視すべき	やや重視すべき	どちらともいえない	あまり重視する必要はない	重視する必要はない
A 物流拠点への所要時間短縮	1	2	3	4	5
B 医療拠点への搬送時間の短縮	1	2	3	4	5
C 観光地間、観光地と交通拠点間の移動時間の短縮	1	2	3	4	5
D 信号箇所、急カーブ、事故危険区間の回避	1	2	3	4	5
E 地吹雪区間の回避	1	2	3	4	5
F 洪水浸水区間の回避、迅速な避難の支援	1	2	3	4	5

質問2 対策案（ルート帯案）の比較にあたって、どのようなことに配慮して計画すると良いと思いますか？

次のA～Dの項目それぞれについて、「特に配慮すべき」～「配慮する必要はない」の当てはまる箇所1つに○をつけてください。	特に配慮すべき	やや配慮すべき	どちらともいえない	あまり配慮する必要はない	配慮する必要はない
A 家屋や施設など地域への影響が小さいこと	1	2	3	4	5
B 自然環境への影響が小さいこと	1	2	3	4	5
C 工事中の交通規制による影響が小さいこと	1	2	3	4	5
D 建設に要する費用が安いこと	1	2	3	4	5

質問3 インターチェンジとのアクセスを検討するにあたって、どのようなことに配慮すべきと思いますか？

次のA～Dの項目それぞれについて、「特に配慮すべき」～「配慮する必要はない」の当てはまる箇所1つに○をつけてください。	特に配慮すべき	やや配慮すべき	どちらともいえない	あまり配慮する必要はない	配慮する必要はない
A 市街地から円滑にアクセスできること	1	2	3	4	5
B 集出荷施設等の物流拠点に円滑にアクセスできること	1	2	3	4	5
C 主要な観光拠点に円滑にアクセスできること	1	2	3	4	5
D 防災拠点に円滑にアクセスできること	1	2	3	4	5

質問4 その他、配慮すべき項目や、今後の道路整備についてのご意見等がありましたらご自由にお書きください。

回答は返信用はがきに記入願います

# アンケートの回答方法、実施期間

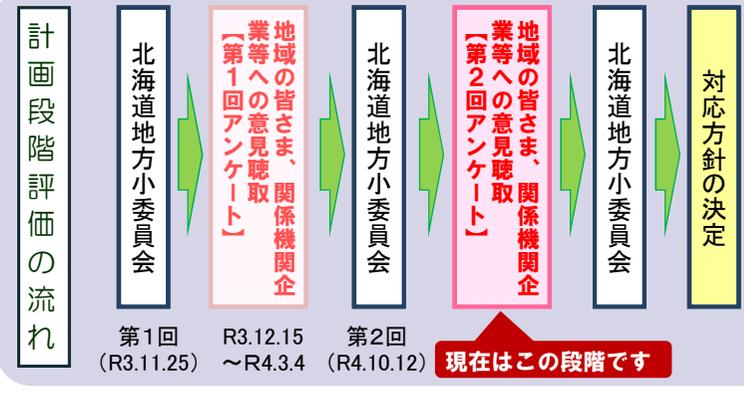
- ・回答は同封の郵便はがきにご記入ください。
- ・回答用の郵便はがきは、切手を貼らずに最寄りの郵便ポストへ投函して下さい。  
なお、投函は令和5年2月14日（火）までをお願いします。
- ・インターネットによる回答も可能になっておりますので、下記アドレスからアクセス願います。  
北海道横断自動車道（女満別空港～網走間）道路計画に関する意見聴取 Web回答用ページ  
[https://www.hkd.mlit.go.jp/ab/douro\\_keikaku/bkh911000006e4v.html](https://www.hkd.mlit.go.jp/ab/douro_keikaku/bkh911000006e4v.html)  
※網走開発建設部ホームページからもアクセス可能です。



■アンケートは「計画段階評価」審議の参考意見となります。

国土交通省では、道路事業の透明性・効率性を高めるため、計画段階評価の取組を導入しています。

これは、道路の整備方針を地域の声（地域の皆様、道路利用者、関係団体）を聞きながら、第三者委員会によって審議するものです。



## アンケートの記入例

郵便はがき

0 9 3 - 8 7 9 0



北海道網走市 新町2丁目6番1号  
網走開発建設部 道路計画課

北海道横断自動車道（女満別空港～網走）  
道路計画に関する意見聴取係 行

差出有効期間  
令和5年3月  
15日まで  
(切手不要)

### 見 本

■あなた自身のことについて（記入または該当する番号に○印）

住所 〒000-0000 北海道 網走 市郡 町・村

性別 ①男性 ②女性 年齢: 40 歳

職業 ①会社員 ②公務員 ③農業 ④漁業 ⑤林業 ⑥観光業  
⑦学生 ⑧主婦 ⑨物流・輸送 ⑩商業 ⑪工業 ⑫無職  
⑬その他( )

■自動車を運転する頻度を教えてください(該当する1つに○)

①毎日 ②週数回 ③月数回 ④ほとんど運転しない ⑤運転しない

■国道39号女満別空港～網走間の利用頻度を教えてください(該当する1つに○)

①毎日 ②週数回 ③月数回 ④ほとんど利用しない ⑤利用したことがない

■女満別空港～網走間の主な利用目的を教えてください(該当する全てに○)

①通勤・通学 ②通院 ③家事・買物 ④仕事(営業・運送等)  
⑤観光・レジャー ⑥その他( )

■前回の第1回アンケートに回答しましたか(どちらかに○)

①回答した ②回答していない

### 北海道横断自動車道（女満別空港～網走）第2回アンケート回答欄

質問1 対策案(ルート帯案)の検討にあたって、どの項目を重視すべきと思いますか？

以下のA～Fの項目について、該当するもの1つに○をつけて下さい。	特に重視すべき	やや重視すべき	どちらともいえない	あまり重視する必要はない	重視する必要はない
A 物流拠点への所要時間短縮	①	2	3	4	5
B 医療拠点への搬送時間の短縮	1	②	3	4	5
C 観光地間の時間短縮と快適な移動	1	2	③	4	5
D 信号箇所、急カーブなどの回避	1	2	3	④	5
E 地吹雪の回避	1	2	3	4	⑤
F 洪水浸水区間の回避、迅速な避難	1	2	③	4	5

質問2 対策案(ルート帯案)の検討にあたって、どのようなことに配慮して計画すると良いと思いますか？

以下のA～Dの項目について、該当するもの1つに○をつけて下さい。	特に配慮すべき	やや配慮すべき	どちらともいえない	あまり配慮する必要はない	配慮する必要はない
A 家屋や施設など地域への影響	①	2	3	4	5
B 自然環境への影響	1	②	3	4	5
C 工事中の交通規制による影響	1	2	③	4	5
D 建設に要する費用	1	2	3	④	5

質問3 インターチェンジとのアクセスを検討するにあたって、どのようなことに配慮すべきだと思いますか？

以下のA～Dの項目について、該当するもの1つに○をつけて下さい。	特に配慮すべき	やや配慮すべき	どちらともいえない	あまり配慮する必要はない	配慮する必要はない
A 市街地からのアクセス	①	2	3	4	5
B 物流拠点へのアクセス	1	②	3	4	5
C 主要な観光拠点へのアクセス	1	2	③	4	5
D 防災拠点へのアクセス	1	2	3	④	5

質問4 その他、配慮すべき項目や、今後の道路整備についてのご意見等がありましたらご自由にお書きください。

.....

## アンケートについてのお問い合わせ先

<調査主体>

北海道開発局 網走開発建設部 道路計画課  
北海道横断自動車道（女満別空港～網走間）  
道路計画に関する意見聴取係  
〒093-8544 網走市新町2丁目6番1号  
電話 0152-44-6510



国土交通省

安全で快適な地域づくりのために  
みなさまのご意見をお待ちしております。



本調査は、オホーツク圏北網地域の道路計画について地域にお住まいの皆さまや道路利用者のご意見を広くお聞きすることを目的とするものです。

そのため、回答用の郵便はがきに記入されたことは、この目的以外には使用いたしません。

回答いただいた個人に関する情報は、本人の同意なく第三者に開示・提供することはありません。（法令により開示を求められた場合を除きます）